



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年1月1日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



会見する岸田首相

「平和国家」
はどこへ

国防の行方

1日(日)=1、3面

岸田政権は「国家安全保障戦略」など安保関連3文書を改定し、相手国のミサイル発射拠点などをたたく反撃能力（敵基地攻撃能力）の保有を明記しました。戦後の防衛政策を大きく転換し、防衛力を

増強します。現実の脅威に対処できるのか、そこに危うさはないのか。台湾情勢、ハイブリッド戦、防衛産業、軍事研究など変わり行く国防の現場取材し、「平和国家」はどこへ向かうのかを探ります。

論点

23年にのぞんで

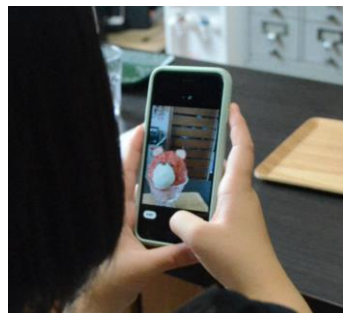
6日(金)=オピニオン面

新年を迎え、各界の識者は何を思うのか、4回にわたって掲載します。初回は安倍政権で経済財政諮問会議のメンバーを6年間務めた東京大名

誉教授の伊藤元重さん=写真=です。日本は経済協力開発機構（OECD）の加盟国中、労働生産性や平均賃金は下位に沈んでいます。労働生産性は

米国の約6割、賃金は隣国・韓国にも抜かれています。こうした現状の背景とともに、日本の未来はどうなるのか聞きました。

写真はイメージ



sideB
裏面を追って

もう一つの真実に迫る

1日(日) || 社会面

世間に広く知られた出来事、制度、慣習……。その裏側には、私たちがは見えにくい事実や疑問が潜んでいます。不確かな情報が飛び交うSNS全盛の時代。レコードで例

えるとB面（sideB）に当たる「裏面」を追って、記者が足を運び、人づてに、関係者の証言や記録に迫りました。

特集ワイド 午後のおしゃべり・椎名誠

6日(金)=夕刊特集ワイド

作家、椎名誠さん=写真=への取材のきっかけは、新刊の帯に「シーナ、よろよろと生還す」と書いてあったことでした。新型コロナウイルスに感染し、回復に時間がかかり、一時は断筆も考えたと言います。そこから見

えた境地とは何なのでしょう。椎名さんの口からは「むなしさ」という言葉も出ました。インタビュー企画「午後のおしゃべり」でじっくりと聞きました。



竹橋の窓辺から
編集後記

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。このお正月、皆様はいかがお過ごしでしょうか。現在、二宮和也さんが主演する映画「ラーゲリより愛を込めて」（毎日新聞社など製作委員会）が大好評上映中です。第二次世界大戦後、シベリアに連行された抑留者たちと、その家族を描いた感動の物語。新年の始まりに愛について考えるのもおすすすめです。ぜひ劇場でご覧ください。（古谷巨）



※都合によっては掲載日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。